

今日のトピック ロシアのGDP成長率(2015年1-3月期)

実質GDP成長率はマイナス転換、年後半以降回復へ

ポイント1 1-3月期は▲1.9%に後退

2009年以來のマイナス成長

- ロシア連邦統計局は15日、2015年1-3月期のGDP統計(速報)を発表しました。実質GDP成長率は、前年同期比▲1.9%と2009年10-12期以來のマイナス成長に転じました。事前予想(同▲2.6%、ブルームバーグ集計)よりは小幅のマイナスに留まりました。
- 欧米による経済制裁は長期化しているものの、大幅な原油安・ルーブル安が、次第に落ち着きを取り戻しつつあることなどから、予想ほどは悪化しなかったようです。

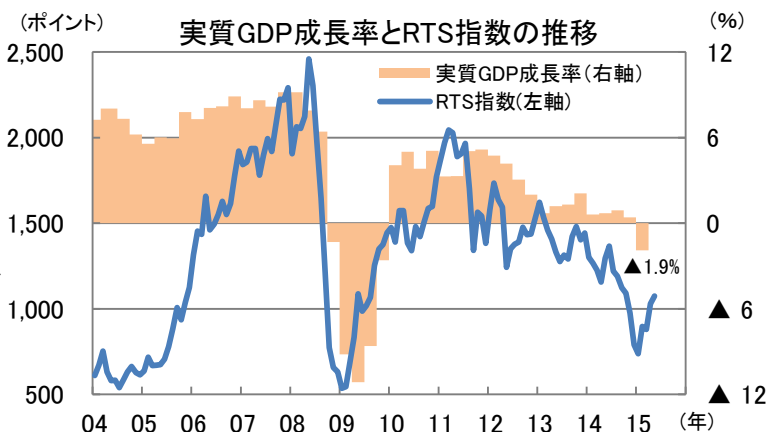
ポイント2 年後半以降回復へ

金融緩和で景気回復期待

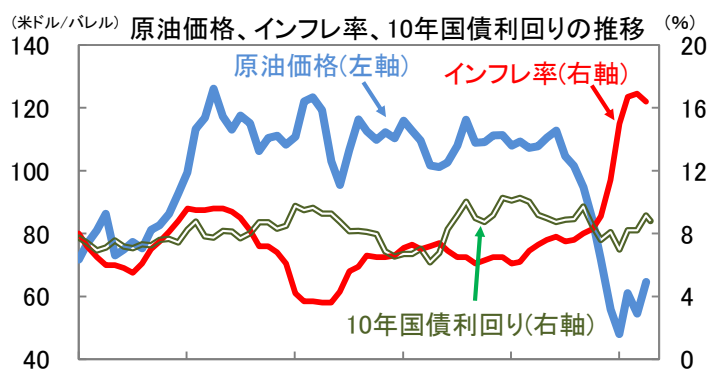
- 実質GDP成長率は、2015年が▲4.1%、2016年が+0.5%(市場コンセンサス、ブルームバーグ調査)と予想されています。2015年はマイナス成長が7-9月期まで3四半期続く見通しですが、金融緩和策などの効果もあって年後半からは次第に回復基調に入ると見られます。

今後の展開 株価は先んじて上昇

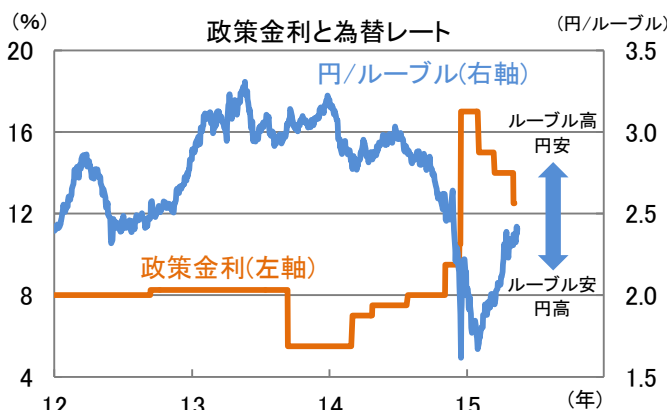
- 株式市場は堅調に推移しています。ロシアの主要な株価指数であるRTS指数と実質GDP成長率の関係を見ると、2009年に実質GDP成長率がマイナスに転換した後、マイナス幅が拡大する過程でも株式市場は実体経済の回復に先んじて堅調に推移しました。
- 原油価格、ルーブルが安定することが重要ですが、今後は、追加の金融緩和が実施される可能性が高いこと、ウクライナとの停戦合意を順守することで、欧米の対ロシア制裁が解除される見通しが強まっていることも、ロシア経済にはプラスです。経済の回復に先んじて株価は堅調に推移すると期待されます。



(注)データは実質GDP成長率が2004年1-3月期~2015年1-3月期。
RTS指数は2004年1月~2015年5月の月末値。2015年5月は18日。
(出所)ロシア連邦統計局、Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注)インフレ率は2010年1月~2015年4月。原油価格と10年国債利回りは2010年1月~2015年5月の月末値。2015年5月は18日。
(出所)Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注)データは2012年1月2日~2015年5月18日。
(出所)Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2015年05月01日 ロシア中銀、大幅利下げを実施
2015年04月23日 ロシア株式市場、通貨の動向と今後の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。